

2012.2.12 堅信式

感謝のうちに

助任司祭アンジェイ

堅信式と洗礼志願式を祝った私たちは、入信の秘跡の恵みに感謝しながら、洗礼志願者と共に信仰を新たにし、喜びと感謝のうちに、復活祭を迎え、救いの道を歩み続けるように招かれています。

「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」という主の御言葉に应えて、私たちは復活の証人として、聖霊に導かれて、また聖母マリアの取り次ぎに支えられて、信仰と希望と愛の道を歩みながら、全世界のキリスト者と共に心をつなげて、言葉と行いによって、祝福と恵みの源である三位一体の神の限らない愛を示し、キリスト者の使命を忠実に果たすように呼びかけられています。私たちと共に歩んでくださる主は、私たちに心の平和を与え、私たちに必要な恵みで満たし、私たちの人生の歩みを支えてくださるのです。

福岡教区の飯塚教会に派遣させていただく私は、南山教会の皆さんに感謝したいと思います。皆さんの祈りに支えられて、2年間共に信仰と希望と愛の道を歩んだことを心から感謝いたします。

教会学校の子供たちをはじめ、南山教会の皆さんの上に神様の祝福と恵みが豊かにありますように。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時

第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)

火曜日 午後7時

金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分

日曜日 午前8時・9時30分・午後6時

Sunday Mass in English 9:30 am

(at the Maria Kan Hall)

ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

受堅信おめでとうございます

エジディオ・ディゲル 森 義也

クララ 柿崎 日向子

アントニオ 小池 太郎

ガニエ・ジョゼフ・マコト

マリア・エリザベト 宮本 恵理子

クララ 小久保 嘉乃

マリア・クララ 加藤 沙耶

小さきテレジア 吉川ゆかり

ヨゼフ・フランシスコ 原 裕喜

マリア 夏目 朋美

エリザベト・マリア 三木 麻衣子

マリア・フランシスカ 加藤 寿弥代

マリア・ヨゼフィーナ 木全 麻友

アビラのテレジア 蛭薙 幸子

堅信を受けて

「祈ることは、まず、神に感謝することである。」

これは、堅信のための勉強会をして一番印象に残ったことです。祈りとは、無償で神からすべてをいただいていることや神が私たちの幸せのために愛してくださっているということに悟って神に感謝することです。また、祈りはゆるし、恵みを願う心でもあります。

私はこのほかにも、イエスはなぜお生まれになったのかということ（受肉の意義）や、敵を愛し、憎む者のために祈りなさいというイエスの教えなど、さまざまなことを学ぶことができました。そして、さらに、堅信を受けて、知恵や勇氣、神を愛し、敬う心をいただきました。私は、これらに加えて、聖霊から授かった賜物に応じて、その能力を発揮し、日々の生活や社会、教会に役立つように努めることができたらいなと思えます。

クララ
小久保 嘉乃

クラーの一週間後に婚姻の秘跡を受け、そして、今回、堅信の秘跡を受ける事が出来ました。

今はとにかく、あふれんばかりの喜びと幸せな気持ちでいます。

自分の人生における神の導きを信じ、受けとめ、従って、生きていきたいと思っています。これからも、よろしくお願い致します。

神の導きに感謝しています。

マリア・エリザベト
宮本恵理子

十月頃から始まった堅信の勉強は、毎週色々なことを学び、考え、とても楽しかったです。

私は、生命についての勉強が、印象に残っています。『殺してはならない。命は人間のものではなく、神のものであるから、どんな理由があっても、自分、他人の命を奪う権利などない。』この授業のときに、人工妊娠中絶というものができて、私は、とても悲しくなりました。胎児は人間ではないという人もいて、驚きました。もし仮に、胎児が人間ではなかったとしても、胎児は生きていま

小さきテレジア

吉川 ゆかり

昨年、洗礼の秘跡を受け、そ



す。一つの命を持っているのです。ですから、人工妊娠中絶とは、神様のくれた一つの命を殺す、ということなので、惨いのではないかと思います。

毎週勉強して行く中で思うこと、感じるものがありました。だから、その日習ったことを考える時間をつくっていました。

堅信式の日。誓いの言葉を言っている時、私は、神様への信仰が強くなっていく気がしました。同時に、これからは、自分の力で神様への信仰をしめす

んだ、と決意しました。

私は、これから、神様のみに背くようなことはしないように、心がけます。もしも、神様のみに背くようなことをしてしまったら、悔い改め、これからは、しないようにし、一度犯したことは消えないから、償いをし、心を清めたいです。そして、普段から、よいことをしていきたいと思います。困っていそうな人には声をかけ、みんなが気付かなくても、人の役に立つことをし、誰かに誉められなくていいから、自分なりに行動したいと思いました。

堅信を受け、私は、神様への信仰が強くなり、よい人になりたいと思います。これから、出来るだけ教会に行き、ミサにでて、神様と共に過ごし、お話したいと思いました。

ジョゼフ ガニエ ジョゼフ マコト

僕は、最初堅信の秘跡を受ける時には、初聖体とは雰囲気が違うのかなと思っていました。が、余り変わっていません。同じだったので、よかったです。

また、勉強していく中で、一

泊黙想会もあつたりして、しだいに楽しくなっていました。特に一泊黙想会では、堅信への緊張も高まりましたし、同じ仲間とも楽しい時間が過ごせたので、一石二鳥でした。それから、堅信の勉強をしていきより緊張を高めていきました。あと、欠席回数も2回に収まったのでよかったです。

さて、堅信式本番の日がやってきました。僕は、練習の時に感じていたものとは違う緊張を感じていました。本番はドキドキしながら、司教様のところへ行き、堅信の秘跡を受けました。終わつた後にはとてもほっとして余り実感はありませんでしたが、堅信は終わったのだなと感じました。その後もミサ中は緊張していました。ミサが終わり、同級生の子とは、食べたり、話しながらパーティーを楽しみました。また、その後、いろいろともりました。が、今までの中でこんなにもあったことは無かったもので、とても驚きましたし、改めて堅信の秘跡を受けることはすごいことだったのだなと思いました。

今回は、テストなども重なり、いろいろと大変でしたが、

無事に堅信の秘跡を受けることもでき、終わることもできたので良かったです。また、キリストにも実感は余りありませんが、少しは近くなることが出来たかなと思います。これから、仲間と共に、キリストにもっと近くなることが出来るように、頑張っていきたいです。今回の勉強はとても良い経験になったと思いました。



心の傷の癒しとゆるし

(その9)



B・ノヴァク神父

6. 癒しの過程の五つの段階

6・1 安らかな死への心理の五つの段階

エリザベス・キューブラー・ロス (Elisabeth Kubler-Ross, 1926'2004) 師は、1969年に出版された「死ぬ瞬間」という本の中で、死の告知を受けた人は安らかに息を引き取るために、普段心理の五つの段階を辿ることがあるという自分の研究の結果を発表しました。それによると、自分が近い内に死ぬということを知らされた病人は、まずこの事実を否認します。それは、自分が死ぬということとは嘘ではないか、または勘違いではないのかと疑う段階です。患者は、この段階を乗り越えようと怒りを感じます。それは、なぜ自分が死ななければならぬのかという怒りを周囲に向ける段階です。怒りが治まると、この人は取引の段階に入ります。なんとかして死なずに済むように取引をしようと試みる段階です。この段階では、例えば、もうタバコを止めるからとか、これから正しく生きる

からとか、命を少しでも延ばしていただくように祈ることがあります。以上の段階をへて、そのような努力は無駄であると分かった患者は、うつ状態に落ちます。それは、無力感と同時に、もう癒されることはないという実感がもたらす絶対的な悲しみの状態です。この段階を乗り越えれば、死に向かっている人は自分の人生の終わりを静かに見つめることができる。受容の段階に進みます。それは、自分が死に行く事実を受け入れる段階です。

すべての人々がこの五つの段階を辿って、静かに死を迎えるわけではありません。人によって様々です。ある段階にとどまってしまうまま、つまり自分が間もなく亡くなるという事実を認めないままとか、大きな怒りを抱いたまま死ぬ人がいれば、ある段階を飛び越えて、最後の段階に達する人もいます。また前の段階に戻る可能性もあります。この五つの段階をより順調に辿って、自分の死を受け入れて、安らかに息を引き取るためには、大切な人に愛されている実感や、自分の体験やそれに伴う考えや感情について、この人と話すことが非常に重要であると

キューブラー・ロス師が語っています。

デニス・リン師とマツシュ・リン師によると、同じ五つの段階が苦しい体験によって発生した心の傷の癒しの過程に見られるということです。それは、不思議なことではありません。なぜなら、人間もなく死ぬという告知を受ける人、特にすべての希望をこの世においた人の場合には、この人の精神的な安定が崩される、つまりこの人の心が非常に深く傷つけられるからです。安心して死を迎えることは、このような傷の癒しの結果であると言えます。他の心の大きな傷の場合と同じように、死の宣告による心の傷が完全に癒されるためには、望ましくない自分の死から善いものを引き出す力のあつての神を信じる必要がある力の源となるのです。

デニス・リン師とマツシュ・リン師が教えている通りに、精神的な傷を負わされた人は、多くの場合まずこの事実を拒否します。第二段階に入った人は、自分の傷を認めて、加害者に対して怒りを感じるようになります。第三段階に移った人は、加害者がある条件を果たしたら、この人をゆるしてもいいと考えるようになります。第四段階において、被害者が体験した苦しみを自分のせいにして、感じている怒りを自分自身に向けてま

す。最終的に第五段階に着いた人は、苦しい体験から生まれた善や成長をしっかりと見て、その善や成長のために感謝の気持ちを感じます。

死の告知を受けた人と同じように、心の傷を負われた人は、必ずしもこの五つの段階を順番に、また順調にたどるとは限りません。ある段階に留まったり、ある段階を飛ばしたり、また逆戻りしたりする可能性があります。より小さな傷の場合は、殆ど気が付かないうちに最後の段階に到達することがありますが、傷が大きければ大きいほど、癒しの過程を促すために被害者の意識的な協力が必要です。これから、各段階をより詳しく見て、この段階を乗り越えて次の段階に進むために、最終的に最後の段階に辿るために私たちにできること、また、私たちがとるべき態度やなすべきことについて考えてみたいと思います。

6・2 第一段階・拒否

私たちの体は、非常に大きな傷を負わせるとショックの状態に入り、私たちは、この傷の痛みを感じなくなり、痛み止めや麻酔のようないくつかの働きをしているのショック、場合によって全身麻酔のように意識をなくすることに至

るこのショックは、体の自己防衛なる恐れもあります。そのため機能によるもので、私たちの体が受けた害によって出来上がった新しい状態に精神を合わせるために必要な時間なのです。もし、人間はこのような麻酔なしに、はつきり意識したまま、大きな傷にとり痛みを感じたならば、それとも、例えば交通事故による大きな刺激を受けたならば、その体だけではなく、精神も深く痛みます。そして場合によって、体が癒されても、精神が癒されない恐れがあります。つまり精神的な病気が発生するという恐れです。新しい状態に合わせるために時間を与えられることによって、人間はこのような精神的な害を避けることができます。

深く傷つけられても、何も大したことがなかったとか、ゆるすことが何もないと思うとか、形式的にゆるすことによって精神的な傷を否認することは、体の傷に伴うショックと同じ役割を果たします。心の癒しの過程において、非常に必要な期間ですので、傷つけられた自分の現実を認めるために無理して努力する必要がないだけではなく、してはいけないことなのです。人間はあまり早すぎて、つまり心の準備ができていないうちに自分の精神的な傷を扱おうとするならば、何もできなくなるほど精神力が衰弱するか、精神病に

次のような兆候があれば、自分が自分の精神的な傷を否認する、つまり第一段階にある可能性が高いのです。集中力が衰えている；「今」を喜ぶことができない；常にわけのわからない不安を感じている；普段よりも頻繁に飲食を聞いたり、テレビを見たり、音楽を聞いたりすることによって満足している；前より長く寝るが、なかなか眠れない；ある人やある場所やある状況をさけようとしている；一人になるときや静かになるときに違和感や不安を感じて、この状態から逃げている；自分の気持ちを表さずに、他人が聞きたいだろうと思うことを話す；誰かが自分の苦しみについて話そうとすると、話題を変えたり；他の人の苦しみに対する自分の反応は均整のとれたものではない（例えば、映画と一緒に見ている人は皆が感動して涙を流しても、自分だけが感動しない、または逆に、自分だけが感動して涙を流す）；人生には、意義がな

いように感じている；感謝すること、何一つないように感じている；皮肉や批判をよく言う；憎しみや敵意を抱いたり、無関心や受身的になったり、引き籠りをしたりするなどです。自分によって、この段階を超えることを妨げることになります。で、このように考えることがあれば、それをやめる必要があります。つまり、「あまり気にしなくてもいい、これ以上に悪いことはないからでもあり得る」、「何もなくても、何とかなるだろう」、「この問題を無視したら、消えるだろう」、「これは、自分の問題なので、周りの人々を心配させたり、迷惑をかけたりしないように、自分の苦しい体験を誰にも話してはいけない」などです。心の傷の癒しの過程を早めるために、次のようなことができます。つまり、心地のいいところになるべく長く過ごす、例えば、自分を尊敬している人や愛している人の間に過ごす時間を延ばす；あわてたり、無理したりせず、必要な限り自分にこの段階に留まることを許す；自分が不正を受けたこととか、大きな傷を負わされたこととかを、自分に無理して認めさせようとしている人を避ける；神の無条件の愛について黙想したり、この愛に心を開くように祈りをしたりするなどです。この段階の終わりが近づくと何もなかった振りを少しづつしなくなり、自分の傷を見つめはじめ、相手が加害者で、自分が被害者であることが段々とはっきり見えるようになります。

教区年間テーマについての 南山教会の取り組み

2月の運営委員会で「福音宣教の具体化」について、日常生活の中で意識して行っていることを月報の紙面で分かち合うことを決めました。小さなことでも共有していくことに意味があると考えています。これを受け、今月は、典礼委員長の新内さんに意識していることを書いていただきました。

福音宣教の具体化

新内飛鳥

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私は老人福祉施設でソーシャルワーカーとして仕事をしています。具体的には、施設にお住まいの高齢者の皆様の生活上の相談や家族様への支援、在宅生活を続けていらっしゃる要介護高齢者への支援など役割は多岐に及びます。そんな役割の一つに私の様なソーシャルワーカーを目指し「社会福

祉士」の資格取得に向けて勉強をしている学生が実習生として施設にやってきます。彼らを育む仕事は、私たち社会福祉士の価値観では「社会福祉の増進」に繋がることとして取り組んでいきます。このことは私個人にとっても更に意味を深く持たせています。社会福祉の増進、これは社会全体の福音化に寄与することだと考えています。また社会福祉士の倫理観やその発展の歴史にキリスト者が貢献していることが揺るぎのない事実として存在しています。あまりにも有名な例はマザーテレサです。学生に指導する時に主がマザーをお使いになつて説かれた「人は人であるだけで愛されなければならぬ」などを紹介します。このことは後進の指導だけにとどまらず同業他社の相談員仲間にも折のあるごとに福祉の仕事は「愛なくしては意味をなさない」ことを伝えていきます。私にとって日常生活のなかでの「福音宣教の具体化」はこのことです。

被災地で活動されている 成井神父様の報告会

2月19日(日)11時〜マリア館ホールでお話を伺いました。傾聴することの意味の大きさや、普段仲よくしていることが何かの時の助け合いにつながるなど印象的なお話でした。



ボーイ97団宗教章 (キリスト教講座を開く)

伊藤 宗太郎

去る1月〜2月にかけて、97団はカトリック会館2階203教室で宗教章獲得の講座を開設した。少年達に宗教心を涵養し、広く優しい心と愛の奉仕を育むために設けた教育講座である。原則は1級以上の進級章を取得したスカウト達が対象だ。だが、広くカトリックの教えに親しむために、宗教奨励章取得を目指して年少の子ども達も講座に参加させた。

寒い1月22日、2月4日〜5日、2月26日に実施した。講師はニコ神父やアントニー神父はじめ、97団の指導者、隊長やリーダーが担当した。「スカウトと宗教」、「聖書」、「祈り」など宗教講話、ワークショップで「祭壇づくり」、「スカウト・オウソンの実演教授、ミーティングや作文作成、大聖堂ミサに参加して聖書朗読や奉献体験など、盛り沢山の教科をこなした。無事講座が終了して、スカウト3名が宗教章を取得し、8名が宗教奨励章を獲得した。ゴクローサマ! ヨカッタね!

第4回 納骨堂建設委員会議事録

1. 経過報告

納骨堂建設委員会立ち上げ以前

八事霊園にある半田教会・南山教会共同納骨堂はほぼ満杯

2010年 信者全体集会にて教会敷地内への納骨堂建設の要望が表明された。
ボクダン師が納骨堂建設に関するアンケートを実施。

- ・納骨堂建設を求める方が多いことが判明

納骨堂管理委員会にて可能性の検討。

- ・神言会の意向を確認。敷地内の納骨堂建設可との見解。

- ・条例を入手し、建設に向けての条件確認。

近隣住民の同意を得ることが必要

2011年 納骨堂の具体像を図面と模型で検討

他教会（イグナチオ教会、碑文谷教会等）の納骨堂について情報収集

納骨堂建設委員会立ち上げ後

2011年10月 8日 第1回納骨堂建設委員会

- 建設委員を以下の構成とした

ボクダン師（主任司祭）

泉 亨（運営委員長）

松浦典文（納骨堂管理委員会）

伊藤恵美子（納骨堂管理委員会）

新内飛鳥（納骨堂管理委員会）

伊藤宗太郎（マリア館や司祭館の建設時に会計を担当）

酒井良雄（営繕委員会）

池田和彦（営繕委員会）

当面の課題の確認

2011年11月18日 名古屋市環境薬務課、環境衛生課訪問

- 建設に向けての指導を受けた

2011年12月10日 第2回納骨堂建設委員会

仮の設計図を作成し、納骨堂の概要について検討した。

今後の工程について検討した。

概念図と公図をもとに名古屋市と下打ち合わせ

設計士の確定

設計細部の詰めと施工業者の選定

確認申請

など

2011年12月13日 名古屋市との打ち合わせ

- 仮の設計図で建築の可能性を探ったところ、原案のまま建設可能

- 手続きの確認

- ・隣接敷地の所有者、使用者の承諾

- ・経営許可申請書

納骨壇、カギの仕様を明記

- ・納骨堂内で火を使わない場合、木製材料使用可

ただし、誓約書が必要

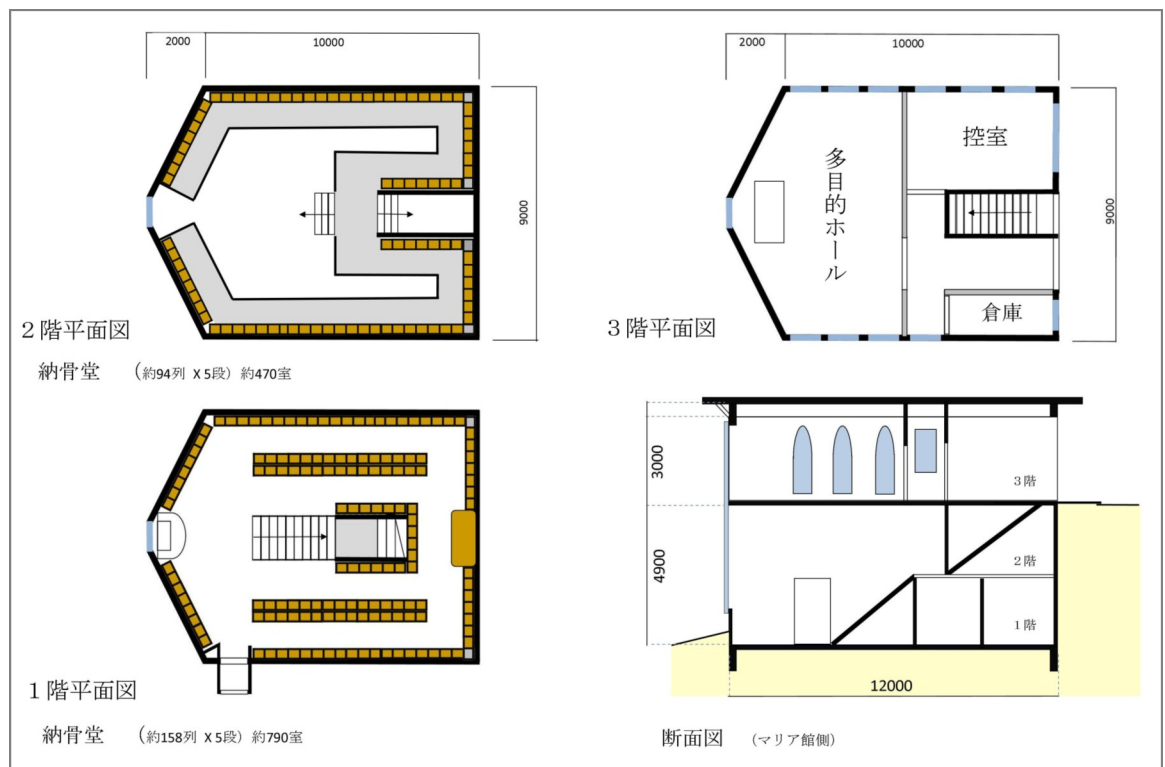
2012年 1月14日 第3回納骨堂建設委員会

- 今後の進め方を検討
 - ・ 完成目標を2013年11月1日以前と設定
 - ・ 設計に3ヶ月、確認申請に1ヶ月、建設業者選定に1ヶ月、本体工事に8ヶ月、納骨壇の設置に1ヶ月程度の見込み
- 納骨堂の仕様について検討（確定版ではない）
 - ・ 本体は、納骨堂スペースにバルコニーを設置。
 - ・ 2階部分に小ホールや控室を設置した鉄筋コンクリート建物
 - ・ 最終的に1300程度の納骨壇を設置できるようにする。
 - ・ 第1段階では納骨壇500程度を設置
 - ・ 第2段階では1階部分に納骨壇追加
 - ・ 第3段階ではバルコニーに納骨壇追加

2. 審議事項

- 設計士の確定に向けた道筋を確認
 - ・ 3社の比較書をもとに検討
 - ・ 今後、ボクダン師と建設委員会の一部メンバーが設計士と話をし、総合的に判断して決定する。
- 資金計画について検討
 - ・ 4月に予備調査を行い、どの程度の需要があるのか把握する。
 - ・ 他教会の信者とその家族も受け入れる可能性有り。

次回は4月14日



検討中の一つの案

青年の皆様へ

カトリック南山教会青年会より

+ 主の平和

新年度に向けてお忙しい中いかにお過ごしでしょうか。さて、今回青年会で交流を企画しました。教会との絆と青年たちの絆を深めるために集まりましょう。

対象年齢：18歳から35歳（新年度大学生になる方は可）

日付：2012年3月18日（日）

時間：受付 17:00～

開始 17:30～

解散 20:30

場所：マリア館2階ホール

出席を3月15日（木）までに下記のアドレスへお願いします。

宛先：d969bb5fd7y82@softbank.ne.jp（ニコ神父）

件名：青年会

本文：名前・出欠席

カトリック南山教会青年会担当司祭 ニコ神父

四旬節の黙想会

テーマ：「神に愛されて生きる」 指導司祭：早川 努神父（小牧教会主任司祭）

3月24日（土）	14:00 十字架道行の祈り	3月25日（日）	9:00 共同回心式
	14:20 共同回心式		9:30 ミサ
	14:30 ミサ		ミサ後休憩（10分程）
	ミサ後休憩（10分程）		第2講話
	第1講話		

営繕委員会 2012年 2月分

不具合・改善 要望 処理済 一覧

3月4日

受付 月日	場 所	項目	内 容	原 因	処 置	費 用	処理 月日
2月3日	マリア館2階 集会室2	破損	御絵の額が落下 して破損	額の裏の紐が劣化し て切れた為	額の修理と紐の交換	¥0	2月7日
2月5日	カトリック会館1階 男子トイレ	故障	浄水ボタンを押す と漏水 する(2ヶ所)	フラッシュバルブ出力 側パッキン 不良(経年劣化)	パッキンの交換 (3ヶ所とも)	¥0	2月7日
12月24日	大聖堂信徒席 水銀灯	補充	信徒席吊り下げ水 銀灯の 交換用ストック	予備電球の在庫がな くなった為	予備電球10本購入 1本 ¥1,360	¥13,600	2月8日
1月13日	カトリック会館1階 事務所	故障	窓側ブラインドの 紐切れ	経年劣化による切断	紐の交換	¥1,574	2月14日
2月16日	カトリック会館1階 事務所	故障	入りロブラインド の紐切れ	経年劣化による切断	紐の交換	¥398	2月17日
						¥15,572	

第11回運営委員会議事録

2012年3月4日

司祭団より

アンジェイ師は4月から福岡教区飯塚教会の主任司祭となる。シュールベルト師は半田教会の主任司祭となるが住所は南山教会司祭館。英語ミサのクレハ師も南山教会司祭館に住む。

来年度予定表案が配布された。修正の必要があれば、3月11日までに教会事務へ届け出る。3月18日には全体に配布予定。

報告事項

次年度各会委員の確認

今年度で任期を終了される方に対する感謝と今後の支援依頼の言葉があった。

来年度委員の確認用紙が配布された。今月中に泉運営委員長に集約する。

新委員は4月1日9時半ミサ後に紹介と挨拶を行う。

ヨセフ会全体会

4月15日11時よりマリア館ホールにて開催

来週から開催案内を教会のお

知らせに入れる。

納骨堂建設委員会の状況報告

これまでの経過報告があった。これまでに4回の納骨堂建設委員会が開催され、2013年11月1日までに完成させることを目標に作業を進めている。

4月には、より具体化するための信徒向けの調査を実施する予定。

審議事項

2012年全国力障連名古屋大会への支援依頼

今年、7月14日(土)15日(日)に行われる第11回大会に対する支援の依頼があった。

運営に関わっている力障連名古屋代表の立石さん(港教会)、社会福祉委員会委員の赤波江さん、全国力障連代表代行の海野さんが来られ、話があった。

大会最高責任者は海野さん。海野さんからは、過去の大会に対する支援への感謝と今大会に対する依頼の具体的な話があった。

ポスターの掲示、ボランティアの募集をお願いしたい。ボランティアは、具体的な働

きがなくても、一緒に参加してくださることがうれしい。

道案内や要約筆記のパソコン操作など具体的なお手伝いもしていただける方がいらつしやる

する形式で行う。

カトリック会館の清掃当番

ヨセフ会、ボーイスカウト、中高生保護者会、マリア会有志の4団体でローテーションを組む。

お食事のお世話もある。ボランティアは、2日間で3千円の参加費。

交通費支援のため20万円ほどご寄付をいただければありがたい。

四旬節と復活祭の典礼・祭儀・パーティー等の確認

典礼は、例年通り。洗礼を受ける方は20名の見込み

25日の共同回心式は、開始時刻を少し早めて、9時から実施。当日は十字架の道行きは行わない。また、ブライバシー保護のため、告解部屋の玄関側の部屋は使わないようにする。動線をテープで示すようなことはしない。

今年度は外部から4名の神父様が来てくださる。ゆるしの秘跡を担当してくださる司祭は計5名

パーティーについては、恒例の持ち寄りと皆で準備片づけを

各会報告

中高生保護者会

堅信式パーティーは、皆様のご協力で華やかになった。感謝。東日本大震災支援のためのロザリオ製作会3月18日に予定。中高生もいっしょに

中高生会

中高生春合宿

3月17日(土)15時

18日13時

新中1も参加してほしい。申込用紙は事務所にあり。

典礼委員会

2月12日 堅信式

野村司教によるミサ

2月19日 南山教会出身成井師

司式のミサ

典礼委員会

2月22日 灰の水曜日

2月26日 志願式

3月18日 子どもミサ

3月24日・25日 典礼委員会

講師は名古屋教区の早川師

共同回心式

※四旬節に入り、十字架の道行

きの祈りを始めた。

ボーイスカウト

宗教章3名申請。指導してくだ

さったニコ師に感謝。

信仰奨励章は8名が取得

ボーイスカウト見学会

3月3日(土) 14時〜16時

ビーバー、カブ、ボーイ

一泊野舎営3月31日(土)

13時30分〜4月1日(日) 11時

までカトリック南山教会中庭に

て(ボーイ隊、カブ隊)

営繕委員会

カトリック会館の老朽化が進

行している。プラインドの紐や

トイレのパッキンなど。今後、

ヨセフ会とも共同で手当をして

いく。防水工事は、今後相見積

りを取りながら検討していく。

大聖堂の夜間の電気つけっぱな

しを制限するため、スイッチに

カバーをつけた。

マリア会

初金の際の東日本大震災支援

のための手作り品の販売の3月

は、50、000円売り上げがあ

った。

これまで計20万1、010

円をカリタスジャパンを通じて

被災地へ送った。

少人数で始まった活動だが、

だんだん輪が広がり、大変良い

交流ができたことに感謝。

アンジェイ師挨拶

アンジェイ師よりこれまでの支

援に対する感謝と今後の予定が

話された。福岡の飯塚教会は現

在司祭不在の状態。

信徒数は250名。幼稚園が

併設されている。3月22日に名

古屋を後にする予定。

ミサ後各会紹介3月当番は、

英語ミサ(第3日曜日予定)

次回運営委員会は4月1日

カトリック教会のカテキズムより

- 1363 記念とは、聖書的には、過去の出来事を単に想起することではなく、神が人間のために行われた偉大なわざを宣言することを意味します。これらの出来事を祝う典礼祭儀の中で、出来事は何らかの形で現存し、現在化されます。イスラエル人たちは、エジプトからの解放を記念する過越祭を行うたびに、それによって自分たちの生活が活性化できるように、解放の出来事が信者たちの記憶の中によみがえってくる、と理解しています。
- 1364 新約聖書では、記念には新たな意味づけがなされています。教会がエウカリスチアを行うとき、キリストの過越を記念し、これが現存するものとなります。キリストが十字架上でただ一度さげられた犠牲は、つねに成し遂げられた状態にあるのです。「『わたしたちの過越であるキリストがいけにえとなられた』(一コリント5・7) 十字架の犠牲が祭壇の上で祭儀執行されるたびごとに、わたしたちのあがないのみわざが行われます」。
- 1365 エウカリスチアは、キリストの過越の記念ですので、いけにえでもあります。エウカリスチアのいけにえとしての性格は、その制定のことばに明かです。「これは、あなたがたのために与えられるわたしのからだである」「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である」(ルカ22・19-20)。エウカリスチアにおいて、キリストは十字架上でわたしたちのために渡されたそのからだ「罪がゆるされるように、多くの人のために」(マタイ26・28)流された血とをお与えになります。

南山句会

平成二十四年二月一日



山茶の花咲きこぼれては日の昏るる

紀子

法螺貝に一山野焼き始まりぬ

洋子

教会の鐘の音色や粉雪舞ふ

とく子

小雨降る西坂登り致命祭

光子

梅一輪歩みを止めし散歩道

瑞子

ペンを置く音にも春の近きこと

牧子

帆柱の林立のさき遠雪嶺

義子

夫の忌や百花賜ひし寒の朝

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信者の消息

転入

ようこそ

エリザベト

大橋慶子（東山教会）

ラファエラ

大橋志麻（東山教会）

転出

いつまでもお元気で

クララ

町村治美

（小金井教会）

ヨセフ

Do Duy Linh

（貝塚教会）

Bui Duc Thanh Tuyen

（貝塚教会）

Do Vuong Huy

（貝塚教会）

Do Vuong Quan

（貝塚教会）

マリア・テレジア 砂野淳子

（精華教会）

マリア・フランチェスカ 光井秀子

（玉造教会）

ヨゼフ

光井雅俊

（玉造教会）

帰天

ご冥福をお祈りいたします

マリア・ベルナデッタ 西村千鶴子（88歳）

2012年3月・4月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
3月	聖ヨセフの月 19(月)聖ヨセフ	24(土)～25(日)南山教会 四旬節黙想会・ 共同回心式 18(日)子供のミサ	2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)運営委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 17(土)-18(日)中高生会合宿 18(日)教会学校・中高生会卒業式 18(日)典礼委員会 26(土)要約筆記付きミサ	15(木)司祭協議会
4月	5(木)聖木曜日(主の晩餐) 6(金)聖金曜日(主の受難・大斎・小斎) 7(土)聖土曜日 8(日)復活の主日 15(日)神のいつくしみの主日	7(土)19:00復活の徹夜祭・洗礼式 8(日)9:30日英合同ミサ復活祭パーティ 29(日)子供のミサ	1(日)運営委員会 8(日)教会学校・中高生会始業式 (日)典礼委員会 (日)ヨセフ会班長会 13(金)マリア会例会(懇談会) 15(日)ヨセフ会全体集会 21(土)10:30子ども部屋 24(土)要約筆記付きミサ	1(日)宣司評総会 5(木)聖香油ミサ 22(日)信徒協委員総会 29(日)召命祈願日